

インドネシア

ソロ川上流治水事業



本事業により改修されたソロ川

[借款概要]

承諾額/実行額	4,746百万円 / 4,611百万円
借款契約調印	1985年12月
借款契約条件	金利3.5%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1994年6月

[事業概要]

ジャワ島最大のソロ川上流において河川改修を実施し、ソロ市を中心とする地域を洪水から守るもの。

[評価結果]

本事業においては、河道の拡幅、掘削、ショートカット築堤等からなる河川改修工事が実施され、工事は1994年6月に完了した。

ソロ市中心部を含む受益地域（約45千ha）では、事業実施前に、洪水被害地域は毎年概ね約1万ha、被害の大きい年で1.6万～2万haに上ったが、事業実施後には約1.6千haと10分の1程度まで激減した。

対象地域の住民インタビュー調査でも、大半の住民が洪水被害への不安から解放され、生活が安定したこと、洪水による道路交通の遮断、家屋・財産・人身被害等が減少したと回答している。

また、土地利用の改善、雇用創出等の効果もあったとされ、洪水防御の効果が大きかったことが窺える。

なお、河床低下により河川構造物が不安定になって来たことに対処するため、JBICの援助効果促進調査(SAPS)の結果を踏まえ、円借款により改修工事が実施される予定である。今後、河床低下の原因となっている砂利採取の規制も含め、河川の保全体制を強化することも必要である。